

謹賀新年



大磯町長

中崎 久雄

新年あけましておめでとうございませう。皆さんにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、「おあしす」を通じて、多くの町民の皆さんの健康づくりをサポートさせていただきました。今年さらには町全体での取り組みを進めてまいります。

「卓話集会」は、多くの皆さんにご参加いただきました。昨年は、皆さんと一緒に健康について考え、貴重なご意見などいただきました。現在は、子育てをテーマに、若い世代の皆さんと意見交換を行っているところです。いただきましたご意見などを活かし、今まで以上に子育て支援策などに力を入れていきたいと思っております。

「旧吉田茂邸の再建」につきましては、焼失前の形態、仕様の復元を目指し、後世に誇れる建築物を遺すため、熱い思いを抱き、県とともに取り組みを進めています。募金活動につきましても再開しましたので、皆さんからのより一層のご協力をお願いいたします。

「ごみ処理の広域化」につき

ましても、昨年9月からの容器包装プラスチックごみの分別収集など、具体的な動きが始まっています。4月からは容器包装プラスチックごみが、10月からは燃せるごみや燃えないごみなどが、平塚市の処理施設に運ばれ処理されます。今まで以上にごみの減量や分別、資源化にご協力をお願いいたします。

また、昨年は大磯駅前の約5千㎡の土地を土地開発公社で取得しました。新たな自転車等駐車場の整備だけでなく、町道や県道の安全対策、バリアフリー化など、今後の土地利用を皆さんとともに進めてまいります。

私を含め職員一同、知恵と工夫を重ね、厳しい財政状況乗り越えていく覚悟でおります。そのために、今まで以上にリーダーシップを発揮して、町民のためのまちづくりを邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いします。

結びに、大磯町のより一層の発展と、本年が町民の皆さんにとって実り多き年になりますよう祈念して、年頭のご挨拶といたします。



大磯町議会議長

渡辺 順子

謹んで新年のお喜びを申し上げます。また平素より大磯町議会へご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

昨年、大磯町議会は5月と11月に計6回の「議会報告会」を行い、さらに町内でご活躍の3つの団体の方々と「一般会議」など意見交換を行いました。

議会報告会では、24年度予算や23年度決算の審査内容、議案の審議過程などを報告させていただきました。

ご参加いただいた方からは、東日本大震災・原発事故を踏まえ、給食食材の放射能測定を実効性あるものにして、子どもたちを内部被曝から守ってほしいという要望や、町の防災対策に多くの質問が寄せられました。

議会の福祉文教常任委員会としては、町と教育委員会に対し、放射性物質（給食食材）の測定器購入検討を申し入れており、今後の動向に期待しているところです。

また、公共施設の省エネ、役場の耐震化、町道16号線の拡幅、役場隣の葬儀場建設などに対するご意見等もありました。

各種団体との意見交換では、団体の活動内容や抱えている課題などを知ることができました。

今後も積極的に議会の説明責任を果たすと共に、皆さまと意見交換の場を持つことで、よりよい政策提言ができる議会を目指してまいります。

さて、昨年末には3・11後初めての内閣総選挙が行われました。離合集散の末に複数の新党も生まれ、脱（卒）原発とエネルギー政策、消費税増税、少子高齢化と社会保障、景気回復、TPP、憲法改正など、国の将来を決める重要なテーマが争点の選挙になりました。

遠い将来に歴史を振り返ったとき、私たちが生きている今の時代はどう評価をされるだろう、と考えることがあります。

「次世代は今の時代の選択に異議を唱えることはできない」この言葉を教訓として、今年も議員一同、常に初心を忘れず務めを果たしていく所存であります。

末筆ながら、今年一年の皆さまのご健勝を祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。